



- 会長／牛山幸一
- 副会長／梅垣和彦・林広一郎
- 幹事／中嶋孝一
- R 情報(会報)委員長／濱 毅

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2784 回例会 2017 年（平成 29 年）2 月 14 日(火)

点 鐘：牛山幸一 司 会：上條英雄
斉 唱：手に手つないで ラッキーNo：NO.10 宮坂宥洪
結 婚 祝：中村文明

会長挨拶

日本中が注目していた日米首脳会談が終了しました。何か事件が起こるかと思いましたが、何も起こらず、非常に友好的に日米同盟の絆を深めたようです。会談前の予想では、安保に関して事前に国防長官が来日し、尖閣は安保の範囲と明言されていたので安心していましたが、その代償で、貿易及び為替レートに関して何か言うのではないかと、多くの人々が心配していたのではないのでしょうか。

イスラム7カ国の人々の入国禁止は、裁判所の判断で却下となり、入国禁止は解除されました。しかし、また別の大統領令を出す事を考えているようです。他の国のトップはその事に関して反対の意思表示をしていますが、残念ながら、日本は米国に守られている手前、たとえ反対であっても言えない、そんな状況ではないのでしょうか。今の日本は米国にすり寄って生きていくしかないのでしょうか。ただ各国が・・・ファーストと言って保護主義に走れば、その行きつく先は・・・あまり考えたくありません。

「人のなす事、皆 愚かなり」こんな事を言った人もいますが、そうならない事を願うばかりです。

卓話「今後の経済環境について」

小山 智 会員



1. とある家計の話
1つのモデルケースを掲示し問題を提起する
2. 今後の経済環境

- (1) 日米首脳会談終了後の経済環境について
 - ・アメリカ、トランプ政権の経済政策の進展
 - ・為替動向
 - ・素材、原料の高騰、エネルギー問題 人材確保→コストアップ要因

- (2) 中長期的に想定される環境変化要因について

【人口減少社会】

地球規模の高齢化社会の到来、世界的な繁栄の広がりのおかげで、出生率が人口維持水準を下回る国々の総人口は2014年までに世界人口のおよそ60%を占めるようになってきている。

この中には大多数の先進経済諸国が含まれると同時に中国(1.5) ブラジル(1.8) ロシア(1.6) ベトナム(1.8) といったいくつかの巨大開発途上国も含まれている

- ・省力化、ロボット産業の成長、雇用拡大なき経済成長
- ・住宅産業への影響、不動産バブル懸念、空き家対策、スマートハウスの進展
- ・IOT 物流改革 環境問題と食糧問題
- ・イノベーション 市場が改革者を求める時代 大変革の時代

3. 最新経済ワード

- (1) FinTech (フィンテック)

- ・フィンテックとは金融を意味する「ファイナンス」と技術を意味する「テクノロジー」を組み合わせた造語。2015年12月に公表された金融審議会の報告書では「主にITを活用した革新的な金融サービス事業を指す。特に近年は、海外を中心に、ITベンチャー企業が、IT技術を生かして、伝統的な銀行等が提供していない金融サービスを提供する動きが活発化している」と説明している。
- ・金融のデジタル化、お金のデジタル化、ITネットワーク社会(グローバル化)の進展、スマートフォンの普及により銀行機能がネットの世界で低価格で完結できる仕組み
- ・フィンテックが注目される理由、①新しくて便利なサービスが次々と誕生している②既存の金融機関の存在を脅かす存在となり得るから

【新たなサービス】

- ・「ペイパル」: 簡単な決済手段を提供しさらに個人間でお金を送るサービスを実現
- ・「ミント」銀行口座や証券口座、クレジットカードの利用情報などを一元化し個人の資金管理や資産運用をサポートするパーソナルフィナンシャルマネジメント PFM
- ・「スクエア」スマートフォンに「ドングル」と呼ばれる機器を取り付けることでクレジットカードの使えない店でクレジットカード決済を可能にした
- ・「レンディングクラブ」個人間でお金の貸し借りを仲介するプラットフォームを提供

- ・「シンプル」店舗を持たずにスマートフォン上で銀行と同じサービスを提供する

【既存の金融機関を脅かす理由】

- ・上記のサービスは機能が単一化していたり、限られたニーズへの対応であったりすることから大したサービスではないとの評価もある。しかし、常に顧客の声を広い改善し「あればよい機能」を追加するなど利用者の不満を的確に捉え対応することで驚異的なスピードで進化している。
- ・しかも非常に低価格でサービスを提供している。金融機関にとって安いサービス、無料のサービスは自分たちの収益源の危機を意味する。

(2) ビットコイン・仮想通貨

- ・現代社会はお金のデジタル化が進展し現金以外で通貨が流通する時代と言える。たとえば銀行に振り込まれる給与、ネット証券での株の売買、クレジットカードサービス。そして電子マネーもデジタル化されたお金の代表格。いずれもアナログの裏付けのある通貨と言える。これに対し仮想通貨とは「日本銀行など各国の中央銀行が発行する法定通貨とは違う仮想通貨」であり「アナログの裏付けのない通貨」の代表格が「ビットコイン」。
- ・法定通貨は中央銀行が紙幣を印刷して発行するが仮想通貨は「勝手に出てくる」。
- ・ビットコインは為替相場などと同様に1ビットコインの価格が日々変動する。為替相場がその通貨の信用度によって上下するのに対し、ビットコインはビットコインそのものの信用度によって上下する
- ・ビットコインは何もないところから出てきた通貨であるが、「マイニング」と呼ばれるプログラムを実行することでビットコインがユーザーの誰かに「当選する」仕組みを開発し実行されたもの。
- ・ビットコインはマイニングで当てるか取引所で購入する、取引所で購入するのが一般的な入手方法。発行額は上限が決まっており4年に1回その数が半減する。
- ・ビットコインはシステムへの信用力が価値の裏付けとなっている。

(3) ブロックチェーン

- ・ブロックチェーンはビットコインを動かすシステムとして知られている
- ・ブロックチェーンとは、一定期間の取引記録などを「ブロック」としてまとめ、それを時系列で連結したもの。P2P 接続されたコンピューターノード同士が同一のブロックチェーンを保持・処理する。
- ・仮想通貨の基本技術がブロックチェーン。ブロックチェーンは取引情報が一度書き込まれると誰にも書き直しができない。これを P2P のコンピューター群で運営する。これがブロックチェーン技術の根幹。
- ・ブロックチェーンはビットコインの仕組みが研究されるにつれ、この仕組みを仮想通貨のみではなく様々な情報のやり取りにも応用できることが分かってきた。この「落ちない」「書き換えられない」「管理者がない」という特徴を活かして様々なシステムとして利用するための取り組みが始まっている。

4. 日本の財政状況から環境変化を考える ・ 掲示したモデルケースを用いて解説

【参考文献】

日経 BP 社「この1冊でまるごとわかるブロックチェーン&ビットコイン」
日経新聞出版社「FinTech フィンテック」ダイヤモンド社「マッキンゼーが予測する未来」

ニコニコボックス

小口泰史・笠原新太郎・上條英雄・高木昭好・竹村一幸・濱 俊弘・林 裕彦・宮坂晃介・宮坂宥洪・宮澤由己・守屋麻里・矢島 進・矢島 實 本日は小山智会員の卓話です。どうぞよろしくお願ひします。

牛山幸一・梅垣和彦・小口 隆・小口泰史・小山 智・佐藤有司・高木昭好・竹村一幸・中嶋孝一・中村文明・濱 毅・濱 俊弘・林 裕彦・林 靖高・宮坂 伸・宮坂宥洪・宮澤由己・矢島 進・矢島 實・山岸邦太郎 心のこもったバレンタインチョコレート、ありがとうございました。ホワイトデーをお楽しみに！！

山岸邦太郎 創業月です。

出席報告

会員数41名、出席者30名、出席率73.17%、前々回訂正66.67%

2016~2017 年度 RI テーマ
人類に奉仕するロータリー
ROTARY SERVING HUMANITY

